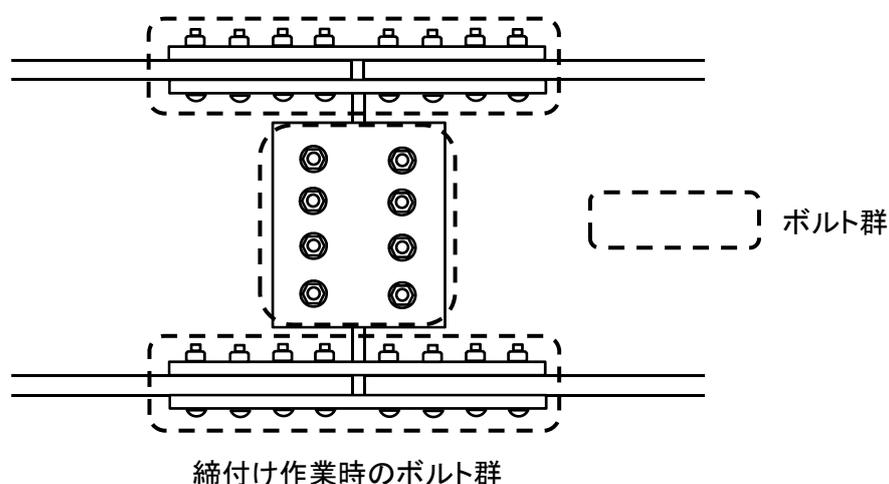


鉄骨工事 Q&A	高力ボルト接合	ボルトの混在	制定	2011年7月1日
			改訂	2019年4月1日

Q. トルシア形高力ボルトと高力六角ボルトが1枚のスライスプレートの中で混在しても問題ないか？

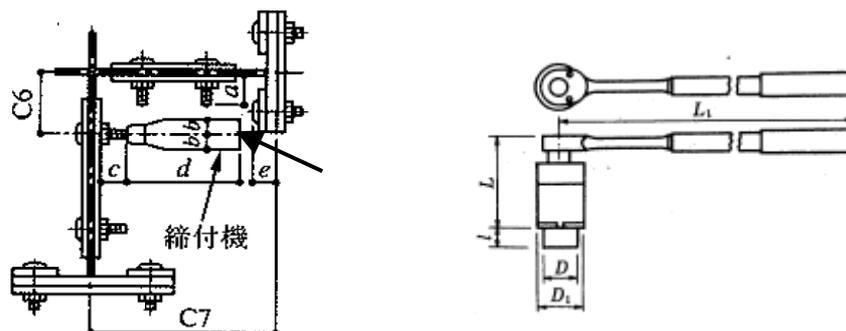
A.

トルシア形高力ボルトの場合には、締付け完了後の検査として、ナット回転量を確認し、一群の平均回転角度 $\pm 30^\circ$ の範囲をものを適合することとしています。この一群とは、ボルト締付け作業時のボルト群として下図のように定義されており、質問にあります1枚のスライスプレート(2面せん断の場合は2枚のスライスプレート)に配置されているボルト群の事を指します。よって、一群のトルシア形高力ボルトの中に、六角高力ボルトが混在せざるを得ない場合には、トルシア形高力ボルトが締付け後の管理方法を一群のナット回転量をばらつきを判定の根拠としている事を考慮して、原則として一群のすべてのボルトを高力六角ボルトとする必要があります。

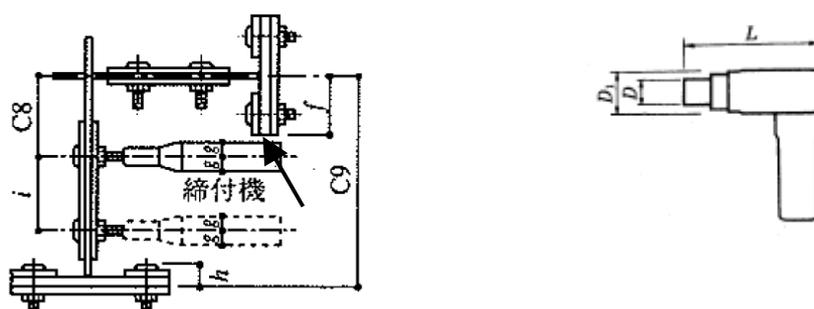


なお、参考としてトルシア形高力ボルトを高力六角ボルトに替えたい場合の例を以下に示します。

(1) 柱フランジに締付機の長さが納まらない場合



(2) 柱フランジに締付機側面が干渉する場合



出典：(一社)日本建築学会\_建築工事標準仕様書 JASS6 鉄骨工事、2018